



害虫忌避インキ

ムシブロックコーティングインキ (一般用)

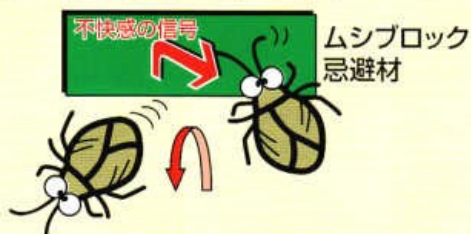
ムシブロック害虫忌避インキはスクリーン印刷
又はコーティングする事により害虫を殺さずに
優れた忌避効果をもつ機能性インキです。
この処理をする事により多くの展開が
可能になります。



接触型忌避材のメカニズム

これまでのタイプと異なりムシブロックは
接触型の忌避材です。

害虫が忌避材に接触することで不快感を
感じてその場から立ち去ります。

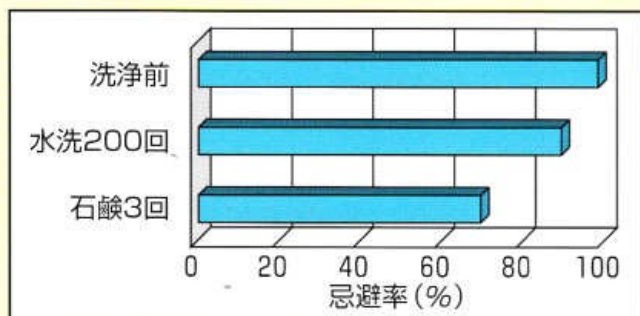


ムシブロックインキの特徴

- 鉛筆硬度は2H程度です。
- 少量で処理可能です。(15~20g/m²)
- 効力は3年間持続します。
(但し加速試験からの推測値)
- いろいろな素材に印刷可能です。
(あらゆる分野に応用展開可能)
(タイル、化粧板、ゴム、ステンレス、スチレンを除く)
- 難燃性は防災2級の結果を得ています。
(難燃性試験 JIS A 1322)

処理面は洗浄可能です。

洗浄後の忌避率の比較



水や石鹼で洗浄しても忌避効果は変わりません。

優れた安全性

ムシも殺せない部材です

経口毒性データ

ラット雄雌 LD₅₀値 3g/kg以上
(原体からの推測値)

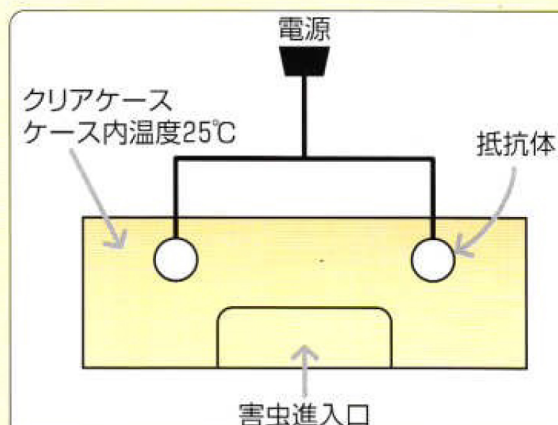
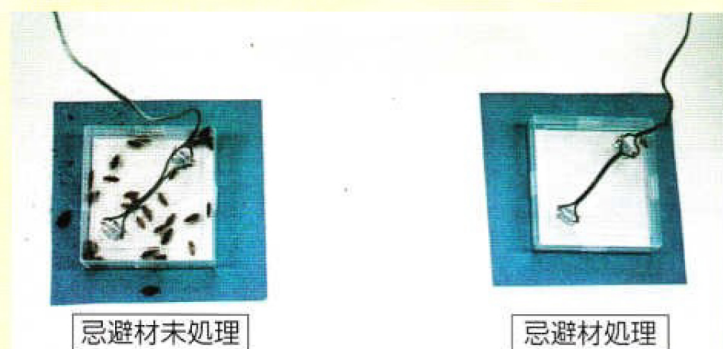
60kgの人の場合忌避テープを180g以上
食べないと致死にいたりません。

注) LD₅₀値

食べた動物の50%が致死に
至る薬剤量。数値が低いほど
毒性が強い。

ムシブロックインキの効果

熱誘引試験による忌避効果



抵抗体による発熱でケース内を25℃に調整し、害虫を誘引させました。(外気温21℃に調整)
未処理の下敷きを敷いたケースには多数の害虫が侵入していますが、
ムシブロックインキを印刷した下敷きを敷いたケースには1匹の害虫も侵入していません。

ムシブロックインキ(一般用)の仕様

インキのタイプ	硬化剤を用いて架橋反応するウレタンタイプで主剤と硬化剤からなる透明メディウムの2液型です。 (顔料等の添加で効力が低下傾向にあり透明メディウムのみとなります。)	乾燥条件	加温(60℃)にて20分、 完全硬化には 常温で1週間かかります。
用途	アクリル、塩ビ、PC、ABS、PET、 処理オレフィン樹脂、金属、塗装板等	可使時間	常温(20～25℃)にて4～6時間
仕上がり	光沢の良い仕上がり	希釈溶剤	T-920 希釈溶剤は必ず上記溶剤をご使用ください。 標準混合比を参考にして目的にあった粘度 に溶剤を使用して希釈してください。
印刷条件	15～20g/m ² になるように印刷 (標準混合で調整された場合)	洗浄溶剤	T-15
混合比	主剤85に対して硬化剤15、溶剤(T-920) 15(重量比)で混合攪拌してください。 上記比率は標準の混合比です。 印刷条件に合わせて溶剤の混合比を 調整してご使用ください。	硬化剤	硬化剤は湿気に対して非常に敏感に 反応しますので、開缶後はできるだけ 早くご使用ください。
		忌避効果	90%以上 (印刷1週間後の効果)

本カタログのデータは当社の試験に基づいたもので絶対的なものではありません。ご採用にあたっては目的の用途に適合するか否かをご確認ください。